

令和8年7月17日
於：世田谷サービス公社

第2回 世田谷区本庁舎等における区民利用・交流拠点施設 区民活動・交流部会及び文化・芸術部会

1 開 会

2 挨拶

3 議 題

(1) 報告案件

- ① 開設までのスケジュール及び部会での主な議題について【資料2】
- ② オープニングイベント実行委員会キックオフ開催及び企画委員会の報告【資料3】
- ③ 交流スペースレイアウト（相談カウンター）及び区民参加の家具作り【資料4】
- ④ R9年度市民活動フェア企画・検討状況

(2) 審議案件

- ① オープニングイベント（区民活動・交流部会及び文化・芸術部会）の企画・検討【資料6】
- ② 利用憲章（案）検討・オープニングイベントでの課題解決テーマ設定の具体化【資料7】
- ③ 広場のマルシェに使用するシェード作成・検討【資料8】

4 次回の日程等

【配布資料】

- 1 部会各議題資料一式（資料1～8）

世田谷区本庁舎 区民利用・交流拠点施設
区民活動・交流部会及び文化・芸術部会 委員名簿

資料1

		No	分類	活動ジャンル	氏名	役職・所属団体等
「区民活動・交流」及び「文化・芸術」部会	区民活動・交流	1	中間支援組織	団体支援	松下 洋章	社会福祉法人世田谷ボランティア協会
		2	中間支援組織	団体支援	尾崎 一美	社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会
		3	中間支援組織	団体支援	菊地 直人	公益財団法人世田谷トラストまちづくり
		4	区内活動団体	賑わい創出等	石山 恭子	NPO法人子育て支援グループamigo理事長
		5	区内活動団体	シニア活動	河上 勇	生涯現役フェア実行委員長
		6	区内活動団体	障害者関連団体	村井 やよい	世田谷区障害者福祉団体連絡協議会会長
		7	学生(若者)	—	酒井 希埜	明治大学ボランティアサークル「Relief」(学生ボランティアネットワーク)
		8	学生(若者)	—	池田 煌汰朗	国士舘大学 NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)
		9	行政(代表)	—	伊藤 祐二	市民活動推進課長
		10	行政	—	望月 美貴	障害施策推進課長
		11	運営事業者	—	上遠野 めぐみ	区民交流スペース等運営事業者
	文化・芸術	1	中間支援組織	団体支援	川島 英樹	公益財団法人せたがや文化財団
		2	区内活動団体	賑わい創出等	検討中	「文化・芸術関係」区内団体関係者
		3	区内活動団体		検討中	「文化・芸術関係」区内団体関係者
		4	行政	—	大谷 周平	文化・国際課長

区民利用・交流拠点施設 開設までの運営委員会・部会スケジュールと主な議題について

区民利用・交流拠点施設 全体スケジュール
2期工事竣工 令和8年9月18日(予定)▼

▼令和8年11月 区民利用・交流拠点施設 開設予定

年度	令和8年度				令和9年度		
	4～6月	7～9月		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
事業運営委員会	▼4/7 第1回委員会 ・会議の進め方について ・準備会から委員会への引継ぎ議題 ア. 愛称募集（案）について イ. オープニングイベントの検討 ウ. R8年度年間事業計画の共有・承認 ・利用システムについて	▼8月 第2回委員会 ・R9年度年間事業計画の提案・意見交換（公用・団体利用集約、事業者提案事項） ・R9年度「市民活動フェア」企画（参画）検討 ・愛称募集(案)最終決定 ・事業運営方針の策定（確認事項・区が取組むことを整理）		▼施設開設 ▼オープニングイベント 11/3～11/23 21日間の実施	▼3月 第3回委員会 ・部会検討状況の共有 ・OPイベント及び施設利用状況の振り返り（日常利用・アンケート結果分析等） ・R9年度「年間事業計画」の検討、確認・承認		▼5月 第1回委員会（R9年度） ・部会検討状況の共有 ・前年度成果を踏まえた本年度以降の目標及び方針の確認 ・中長期的な課題の検討
	「利用ルール素案」と予定していた議題は、「利用システム」として微修正。 第1回で予定していた「事業運営方法」の策定は第2回の議題に変更。			次年度予算要求			
「区民活動・交流」、 「文化・芸術」部会	▼5/12 第1回「区民活動・交流、文化部会」 ・オープニングイベントの企画（参画）検討、全体振付 ・「利用憲章（案）」の検討 ・OPイベントでの課題解決テーマ設定の具体化 ・シード作成検討	▼7/17 第2回「区民活動・交流、文化部会」 ・オープニングイベントの企画・参画検討、全体振付 ＝R9年度「市民活動フェア」企画（参画）検討 ・「利用憲章（案）」の確定 ・OPイベントでの課題解決テーマ設定の具体化 ・シード作成検討		次年度予算要求	▼2月 第3回「区民活動・交流、文化部会」 ・オープニングイベントの振り返り ・利用状況の把握・検討 ・R9年度の施設の活性化に向けた企画・検討 ・R9年度「（仮）市民活動フェア」企画（参画）検討		▼4月 第1回「区民活動・交流、文化部会」（R9年度） ・施設の活性化に向けた企画・検討 ・（仮）市民活動フェア」企画（参画）検討
	委員会での検討から部会の検討へ変更（具体的な利用をイメージした検討となるため）						
みどり部会	▼5/15 第1回「みどり部会」 ・オープニングイベント(みどり活動)の企画（参画）検討 ・屋上区民花壇等の区民参加事業について	▼7/13 第2回「みどり部会」 ・オープニングイベント(みどり活動)の企画（参画）検討 ・屋上区民花壇等の区民参加事業について ＝R9年度「市民活動フェア(みどり活動)」企画（参画）検討		次年度予算要求	▼2月 「第3回みどり部会」 ・オープニングイベント(みどり活動)の振り返り ・屋上区民花壇等の区民参加事業について ・R9年度の施設の活性化に向けた画・検討 ・R9年度「（仮）市民活動フェア(みどり活動)」企画（参画）検討		▼4月 第1回「みどり部会」（R9年度） ・施設の活性化に向けた企画・検討 ・屋上区民花壇等の区民参加事業について ・「市民活動フェア(みどり活動)」企画（参画）検討
	審議案件から報告案件へ変更（具体的な施設利用を基に検討する必要があるため）						
実行委員会	▼6/10 実行委員会キックオフ ・オープニングイベントコンセプト ・実行委員長、副委員長、企画委員について	▼7/15 実行委員会 ・オープニングイベントコンセプト、テーマ決め ・オープニングイベントスケジュール調整					
	▼6/30 実行委員会企画委員打ち合わせ ・オープニングイベント内容 ・役割分担について						

第1回 世田谷区本庁舎等における区民利用・交流拠点施設 事業運営委員会 みどり部会			
開催日時	令和8年5月15日（金） 午後6時30分 ～午後8時30分		場所 梅丘パークホール
出席委員 （敬称略、五十音順）	委員	中間支援組織	公益財団法人世田谷トラストまちづくり 荒井委員
			公益財団法人世田谷トラストまちづくり 松本委員
		区内活動団体	大坪委員、湧口委員
		学生（若者）	堀委員、松澤委員
		行政	伊藤委員、笠原委員、北村委員
事務局	市民活動推進課		榎本係長、杉藤
	運営事業者		上遠野施設長、本田副施設長、福永 栗本、佐藤、山下、松下
議題	（1）報告案件 ①準備会から委員会への引継ぎ事項 ア．施設運営にあたっての確認事項 イ．準備会での主な議題 ②開設までのスケジュール及び部会での主な議題について ③4月7日事業運営委員会の報告 （2）審議案件 ①オープニングイベント（みどり活動）の企画（参画）検討、全体振付 ②庁舎の緑化状況と区民参加について （3）次回の日程等		

（１）報告案件

○部会開催背景：

本部会は、１１月３日（火祝）にグランドオープンする区民利用・交流拠点施設の開設に向け、準備会で整理された方針・検討内容を引き継ぎ、事業運営委員会と連動・協力しながら運営や活用方法を具体化することを目的として設置されたものであり、委員全員で以下の主要な役割を確認した。

- ・施設の魅力と繋がり高め、利用を広げるための企画支援を行う。
- ・施設の利用状況把握と課題・活性化策の検討をする。
- ・部会メンバーのネットワークを活かした参画体制の拡大を図る。
- ・運営事業者への助言と方向性の提示を行う。

①準備会から委員会への引継ぎ事項

伊藤委員から説明を行い、準備会から事業運営委員会への引継ぎ項目について、以下の通り全委員で認識を共有した。【資料No.3、4】

ア．施設運営にあたっての基本確認事項

【場づくりに関する事項】

No.1：原則無料・予約不要・営利可能な場づくり

No.2：定期的かつ魅力的なイベントの実施・気軽に立ち寄れる場づくり

【運営方法に関する事項】

No.3：柔軟に見直し（トライアンドエラー）が可能な施設運営

No.4：チャレンジ・バージョンアップ・マッチング

【成果・交流に関する事項】

No.5：区民、団体、区職員がオープンな活動に参加し、交流や協働を育み、課題解決に寄与

No.6：区及び運営事業者が中心となって、区民、団体、区をつなぐ

イ．準備会での主な議題

○施設の位置づけ、機能

令和6年12月から令和8年2月まで計5回開催した準備会で議論している内容について、配布資料4に記載されている旨説明。

②開設までのスケジュール及び部会での主な議題について【資料No.5】

本田副施設長から説明を行い、区民利用・交流拠点施設開設までのスケジュール及び部会での主な議案について、以下の通り全委員で認識を共有した。

1．オープニングイベント期間における公用予約及び参加表明団体の開催希望内容を確認した。

2．オープニングイベント参加団体交流会開催

・開催日：2026年4月26日（日）13：00～

・交流会参加団体数：20団体、参加者25名

（※オープニングイベント参加希望団体数：交流会時点で30団体）

- ・参加団体が自ら企画を提案し、施設全体で協力しながらイベントを作り上げる体制の検討を行った。

- ・6つのテーマグループに分かれて意見交換を実施した。

3. オープニングイベント実行委員会の提案

- ・事業運営委員会及び参加団体より実行委員会設置の要望があったことを受け、実行委員会の活動イメージについて説明を行うとともに、部会委員に対し参画を依頼した。

(2) 審議案件

本田副施設長、マッチングコーディネーター福永氏から説明を行い、各審議案件について委員と意見交換を実施した。

審議①：オープニングイベント（みどり活動）の企画（参画）検討及び意見交換で見た課題

○委員からの主な意見及び提案に対する事務局からの回答、要望・意見交換から出た課題は以下の通り。

1. 意見及び提案

- ・交流拠点のオープニングイベントの立ち位置として、どのような方向で考えているのか教えてほしい。

（回答）：実働部隊としての実行委員会にてオープニングイベントを進めていく。部会は実行委員会で出た具体的なイベントアイデアに対して進言や助言をお願いしたい。

- ・屋上庭園に対する目標や方向性、どのような屋上庭園にしたいかビジョンが不明確。

（回答）：屋上庭園に限らず、交流拠点はインキュベーション施設をイメージしている。多くの団体の役に立つ施設にしたいと考え、施設に集まる人々が多岐にわたり活動できる実践の場にしていきたい。

- ・区民花壇に植える花は、区民に花を選択してもらうのか。

（回答）：現在ワークショップを開催しながら実施方法を検討中である。種類は決定していないため、花をそれぞれ持ち寄ることなど含め運営を考えている。

- ・屋上庭園だけでなく庁舎周辺のケヤキ並木や広場を含めた交流拠点全体として、みどりを通じた活動のハブとなることを期待する。

- ・屋上庭園含め区庁舎をみどりの学び場として提供できるのではないかな。

- ・みどり活動を区民に知ってもらうため、各農業公園の余剰作物を交流拠点に持ち寄り、配布が可能である。

- ・みどり団体は既存の活動フィールドがあることや活動資源の制約があるため、拠点側からの誘致だけでなく、世田谷らしいものが垣間見える仕掛けづくりが必要である。

- ・屋上庭園を利用して、何かしらの求心力を見出した方が良い。

- ・屋上庭園含め、植栽に関する区民参加の具体的な方法と範囲が不明確。

- ・区民花壇ではなく畑にし、世田谷らしさを前面に出せる野菜を取り入れるといいのではないかな。

- ・世田谷らしいものが垣間見える仕掛けづくりをみんなで考える必要がある。
- ・屋上花壇の花の植え替えを定期的に行うことで、季節の模様替えを楽しめる。

2. 要望

- ・交流拠点内に、みどり関係団体の活動PRする場を設けたい。
- ・屋上庭園の樹木に関する情報発信することで、興味を示す団体が増える。
- ・「落ち葉ひろいりレー」を区庁舎も会場にし、オープニングイベントにドッキングすることによりPRにもつながる。

3. 意見交換で出た課題

- ・オープニングイベントの具体的な目標設定と継続性の確保が困難なのではないか。
- ・みどり団体は各団体が活動フィールドでの課題対応に取り組んでおり、予算や人員の制約もあることから、区庁舎屋上庭園での企画への参画はハードルが高いのではないか。
- ・屋上庭園管理を1つの団体だけが担うことがいいことなのか。

審議②：庁舎の緑化状況と区民参加について

北村委員より庁舎敷地の緑化の概略、東棟屋上庭園の設計コンセプトを説明した。また、これまで庁舎管理担当課で実施したワークショップを紹介するとともに、今後区民参加を促すための策を検討した。

委員からの主な意見及び提案に対する事務局からの回答、要望・意見交換から出た課題は以下の通り。

1. 意見及び提案

- ・区民が「見て楽しい」と思える花壇にするため、花が咲いた状態で花壇に植える方法の方が退屈な場所に見えないのではないか。

（回答）：区民花壇の方針については検討中であるが、ポットを花壇に植えるか種を蒔いて一から育てる方法の2種だと考えている。

- ・区民団体及び区民が長く参加可能な具体的な施策を実施した方が良い。
- ・マイクロコモンズ（小規模な管理・利活用）とすることで区民にも責任をもって花壇の財産管理を担ってもらいたいが、みどり団体にも協力してもらう必要がある。
- ・庭づくりや剪定に興味を持つ若者も多数いるため、大学の授業や実習の場として区庁舎を活用し、みどりイベントに学生ボランティアに参加してもらうことで若年層の参加が増え担い手に繋がるのではないか。
- ・屋上庭園を責任をもって管理していくためには、まず適切な運営体制を整えたうえで、地域のみどり活動に関心のある団体や個人に参画を呼び掛ける必要がある。

2. 要望

- ・エディブル野菜等の活用は魅力的であり、屋上庭園で育てた野菜を活用した料理をふるまうイベントも開催していきたい。

- ・屋上花壇に区民が植えた草花の情報をキャッチーに掲示することで、活動の広報と花壇の様子を把握することができるのではないか。
- ・みどり関連のボランティアに関して、みどり活動に若い世代が関心を持つきっかけになる可能性があるため参加したい。

3. 意見交換で出た課題

- ・区民参加によるワークショップ形式での植栽活動を実施する方向性を確認したが、区民参加型の屋上庭園として誰が維持管理含め担っていくのか。
- ・みどり活動に参加したいと考える人は多数いるはずだが、日常管理や運営側との関わり方に不安を抱く人も少なくないため、屋上庭園施策へ参加を促す広報が課題となる。
- ・動画やSNSで広報活動を実施しているが、広く周知できずに活動参画までに至らない。

(4) 審議による決定事項

1. オープニングイベント実行委員会の設置を決定し、部会メンバーからの参加を募ることとした。
2. 屋上庭園の花壇について、区民参加によるワークショップ形式での植栽を検討し、季節に応じた植え替えを実施することを目指す。
3. 緑化活動における市民団体との連携を強化し、各団体の専門性を活かした協働事業を推進する必要があることを認識した。
4. 次回みどり部会を7月中旬に開催し、オープニングイベントの具体的なアイデアについて部会委員よりプレゼンしてもらう時間を設けることとした。

世田谷区本庁舎等における区民利用・交流拠点施設

第 1 回オープニングイベント実行委員会

<日時>

2026 年 6 月 10 日 18:30～20:30

<場所>

梅丘パークホール、オンライン配信

<実行委員会参加者>

神田由佳(委員長)、池田恒一郎(副委員長)、市村元(企画委員)、河上勇(企画委員)、
権守朋子(企画委員)、下村一(企画委員)、藤原直美(企画委員)、中井深雪(企画委員)、
齋藤啓子、森井薫、高橋亜子、長谷川彩子、村井やよい、高橋和光、長谷川周、酒井希
埜、鈴木景子、男鹿芳則、松澤櫻太郎、井上寿純、石山恭子、松田妙子、中田希衣、藤岡
昭、榎本香、堀集人、岡田美江子

<事務局>

○世田谷区役所市民活動推進課

中西部長、伊藤課長、榎本係長、杉藤、工藤

○運営事業者

上遠野施設長、本田副施設長、栗本、佐藤、西原、山下、松下、福永、川崎、千葉、市川

<議題>

- 1 開会・挨拶
- 2 区民利用・交流拠点施設について
- 3 実行委員自己紹介
- 4 意見交換
オープニングイベントコンセプト
実行委員会委員長・副委員長について
- 5 次回に向けて

<区民利用・交流拠点施設について>

○施設概要

- ・令和 8 年(2026 年)11 月開設予定の区民利用・交流拠点施設
- ・東 2 期棟 1 階の区民交流スペース、中庭広場を中心とした施設
- ・「区民自治と協働・交流の拠点としての庁舎」を実現

○施設の主な構成

- ・区民交流スペース(東棟 1 階):運営時間 9 時～22 時
- ・区民交流室(西棟 2 階、東棟 2 階):運営時間 9 時～22 時
- ・広場、ピロティ(東棟 1 階):24 時間通行可能、活動は 9 時～17 時
- ・屋上庭園(東棟 6 階):運営時間 9 時～17 時
- ・エントランスホール(東棟 1 階):運営時間 9 時～22 時

<意見交換①:オープニングイベントコンセプト>

○オープニングイベント期間

令和8年11月3日～23日(21日間)

○オープニングイベントに関する意見交換

①みんなに来てもらうためには？

・「汽水域」

17時以降も利用ができるため、区の職員にも積極的に参加してもらう

屋上庭園でランチ(主に土日祝日)

・口コミで広げていく

若い世代に来てもらうために、学生団体にコンタクトを取り、サークル単位で誘致

・インクルーシブなまちづくりの見本(多様性を大切にする)

模範となるようなイベント(スタンプラリー)

混雑していると言いきづらい人もいるため、招待制の工夫も大切

人が多すぎると疲れてしまう人のための対策や休憩スペースも必要

・科学をテーマにした取り組みもしたい

・子どもに来てもらいたい＝子どもが主体になれるイベントを企画したい

子どもゆめ横丁(川崎市／子どもの手作り屋台)、こども霞が関を参考にしてみる

・会場の作り方も工夫次第

パネルとビニールシートで仕切りを簡単に作成可能

・音楽、エンタメ団体同士で連動・コラボさせる

②つながりをつくるためには？

・開かれた区のイメージをつくる

・オープニングイベントのタイトルやキャッチコピーをつくる

・テーマをくくってみる

週ごとのイベントテーマ

様々な世代が分断されずに参加できるテーマにする

イベント期間が長いため、テーマでくくることが大事

イベントテーマを分けることで対象者も明確になり、広報しやすくなる

・子育てメッセを一か所に集約する

地域に分散しまった企画を一か所に集約し、出展者を募る

・イベントスケジュールや出店のトーンを整理した方が良い

メリハリができる

賑わうイベント、穏やかなイベントなど分ける？

・区の事業とすり合わせる

区の企画と共同実施できるような内容を考えてほしい

③世田谷区で考案している企画

・広場でのマルシェ開催と装飾制作

広場で開催するマルシェで使用するシェードを区民参加で作成予定

区民活動部会の委員がサポートしながら、区民と一緒に装飾を制作

制作した装飾はマルシェ期間中に使用し、雰囲気づくりに活用

- ・手作り家具の制作

広場に設置するベンチやテーブルなどの手作り家具を区民と民間事業者のコラボレーションで制作

イベント時には屋台として活用する計画

日常的に屋外に設置することの安全性や管理負担について今後検討が必要

オープニングイベント開始時から 11 月のオープニングイベントまで継続して実施

<意見交換②:実行委員会の体制>

○委員長・副委員長の選出

- ・委員長:神田由佳(ワクワクぼうさい)

- ・副委員長:池田恒一郎(わらび座)

○企画委員の選出

- ・市村元(一般社団法人あぴラッキー)

- ・河上勇(生涯現役フェア実行委員長)

- ・権守朋子(ごんちゃんとおかたづけ)

- ・下村一(希望丘青少年交流センター「アップス」)

- ・中井深雪(特定非営利活動法人心のおしゃべり音楽工房)

- ・藤原直美(ワクワクぼうさい)

合計 8 名(委員長・副委員長・企画委員 6 名)が中心的に活動を推進する体制

○委員長・副委員長の抱負

神田委員長

- ・委員長が全てを引っ張るのではなく、皆で一緒に進める

- ・皆の力を借りながら世田谷区が盛り上がる地域になることを目指す

- ・11月まで実行委員会全員で協力して開催したい

池田副委員長

- ・5ヶ月の長丁場となるが、一人一人が当事者意識を持つことが重要

- ・イベントならびに世田谷区を盛り上げていく

○役割分担と運営方針

- ・スケジュール管理、オペレーション、システム企画、マーケティングなどの役割検討

- ・具体的な仕事内容や承認フローが不明確であるとの指摘があった

- ・少人数の企画委員で素案を作成し、全体会議で検討する方針に決定

- ・来週火曜日までに第 1～第 3 希望の役割分担を決定することとした

<情報共有ツール(Slack)の導入>

- ・実行委員会メンバー全員を 運営事業者栗本より Slack に招待

- ・LINE のような感覚で使用可能

- ・対面・オンライン双方で参加できない方への情報共有ツールとして活用

- ・無料版を使用するため、ファイルやテキストは 90 日間で消去される

- ・重要な資料は各自でダウンロード保管することを推奨

- ・DM 機能は最小限に留め、オープンな情報共有を心がける

- ・利用ルールをすでに掲載しているため、招待承認後に確認

<広報(イベントチラシ)スケジュール>

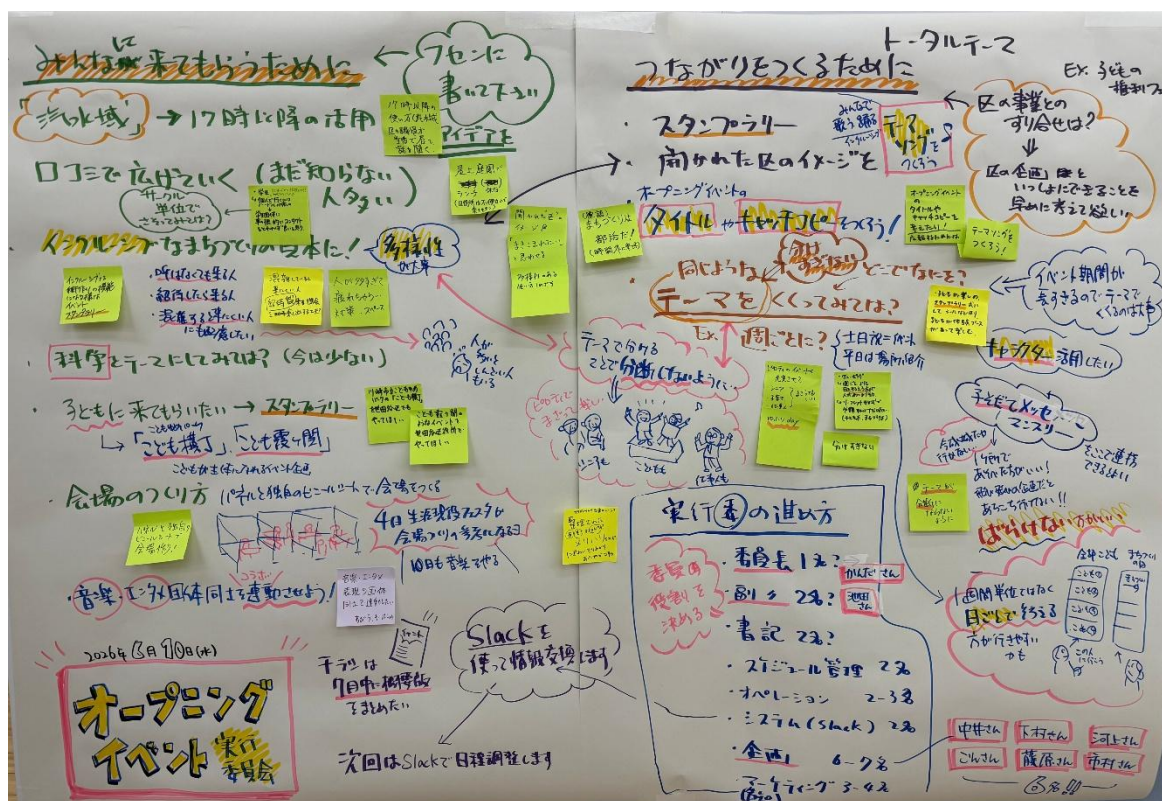
- ・9月上旬納品で区内掲示板へ掲示予定
- 7月中旬に概要版チラシの内容をまとめる必要がある
- ・チラシ掲示後、Instagramなどで続報を発信していく

<決定事項>

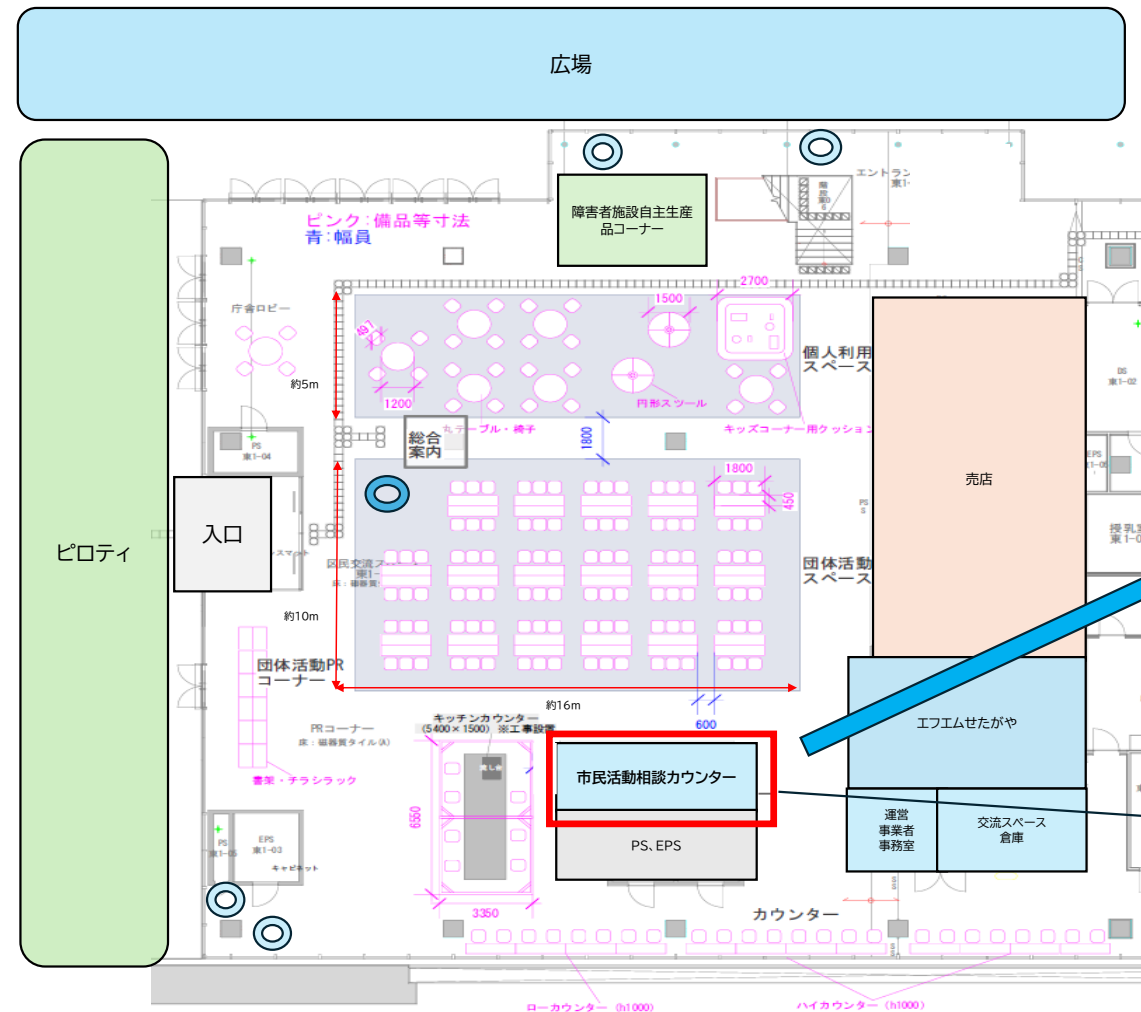
- ・委員長に神田由佳(ワクワクぼうさい)、副委員長に池田恒一郎(わらび座)が就任
- ・企画委員として6名が選出され、合計8名体制で活動を推進
- ・Slackを情報共有ツールとして導入
- ・次回開催日程はSlackで参加者の都合を確認して決定
- ・対面とオンラインの両方で実行委員会を開催
- ・少人数の企画委員で素案を作成し、全体会議で検討する方式を採用
- ・実行委員会の予算はない(施設側でチラシ等の広報ツールは準備)

<今後の予定>

担当者	内容	期日
栗本	全メンバーに Slack 招待を送信	近日中
全メンバー	第1～第3希望の役割分担を決定	来週火曜日まで
事務局	Slackで次回開催日程の都合確認を実施	Slack導入後速やかに
企画委員	概要版チラシの内容をまとめる	7月中
委員長・副委員長・企画委員	素案を検討し、次回全体会議で検討	次回会議まで

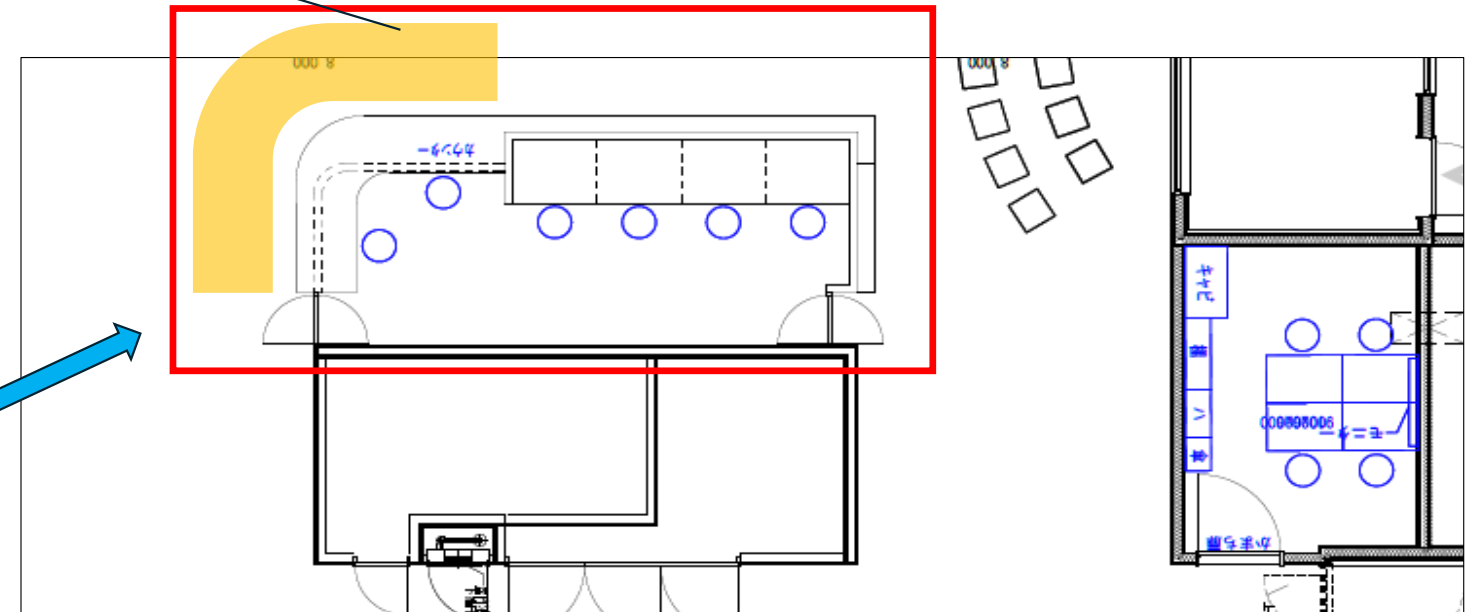


【区民交流スペース レイアウト】



市民活動相談カウンター 詳細図

スタッフの方とできる限り正対しない形が良いというご意見を踏まえ、相談カウンターは「く」の字型とし、できる限り話がしやすい雰囲気にしたいと考えています。



市民活動相談カウンターとは
運営事業者スタッフが常駐し、施設の利用案内、調整を行います。また団体さん等の相談対応を行う場所です。

(相談対応)
スタートアップ支援、バージョンアップ支援、マッチング支援など

第1回 世田谷区本庁舎等における区民利用・交流拠点施設 事業運営委員会区民活動・交流部会及び文化・芸術部会			
開催日時	令和8年5月12日（火） 午後6時30分 ～午後8時30分		場所 梅丘パークホール
出席委員 （敬称略、五十音順）	委員	中間支援組織	尾崎委員、川島委員、菊地委員、松下委員
		区内活動団体	石山委員、河上委員、村井委員
		学生（若者）	酒井委員
		行政	伊藤委員、大谷委員、望月委員
欠席委員	池田委員		
事務局	市民活動推進課		榎本係長、杉藤、工藤
	運営事業者		上遠野施設長、本田副施設長、福永栗本、佐藤、山下、松下
議題	（1）報告案件 ①準備会から委員会への引継ぎ事項 ア．施設運営にあたっての確認事項 イ．準備会での主な議題 ②開設までのスケジュール及び部会での主な議題について ③4月7日事業運営委員会の報告 （2）審議案件 ①オープニングイベントの企画（参画）検討、全体振付 ②利用憲章（案）検討 ③オープニングイベントでの課題解決テーマ設定の具体化 ④広場のマルシェに使用するシェード作成 （3）次回の日程等		

(1) 報告案件

○部会開催背景：

区民利用・交流拠点準備会は令和8年度から事業運営委員会へと移行し、11月3日（火祝）のグランドオープンに向け準備を進めている。

事業運営委員会と連動・協力しながら部会でも準備を進めることで確認を行った。

○部会の主要な役割を、委員全員で以下の通り確認した。

- ・施設の魅力と繋がりを高め、利用を広げるための企画支援を行う。
- ・施設の利用状況把握と課題・活性化策の検討をする。
- ・部会メンバーのネットワークを活かした参画体制の拡大を図る。
- ・運営事業者への助言と方向性の提示を行う。

①準備会から委員会への引継ぎ事項

伊藤市民活動推進課長から説明を行い、準備会から事業運営委員会への引継ぎ項目について、以下の通り全委員で認識を共有した。【資料No.3、4】

ア. 施設運営にあたっての基本確認事項

【場づくりに関する事項】

No.1：原則無料・予約不要・営利可能な場づくり

No.2：定期的かつ魅力的なイベントの実施・気軽に立ち寄れる場づくり

【運営方法に関する事項】

No.3：柔軟に見直し（トライ&エラー）が可能な施設運営

No.4：チャレンジ・バージョンアップ・マッチング

【成果・交流に関する事項】

No.5：区民、団体、区職員がオープンな活動に参加し、交流や協働を育み、課題解決に寄与

No.6：区及び運営事業者が中心となって、区民、団体、区をつなぐ

イ. 準備会での主な議題

○施設の位置づけ、機能

令和6年12月から令和8年2月まで計5回開催した準備会で議論している内容について、配布資料4に記載されている旨説明。

②開設までのスケジュール及び部会での主な議題について【資料No.5】

本田副施設長から説明を行い、区民利用・交流拠点施設開設までのスケジュール及び部会での主な議案について、以下の通り全委員で認識を共有した。

1. オープニングイベント期間における公用予約及び参加表明団体の開催希望内容を確認した。

2. オープニングイベント参加団体交流会開催

・開催日：2026年4月26日（日）13：00～

・交流会参加団体数：20団体、参加者25名

（※オープニングイベント参加希望団体数：交流会時点で30団体）

・参加団体が自ら企画を提案し、施設全体で協力しながらイベントを作り上げる体制の検討を行った。

・6つのテーマグループに分かれて意見交換を実施した。

3. オープニングイベント実行委員会の提案

・事業運営委員会及び参加団体より実行委員会設置の要望があったことを受け、実行委員会の活動イメージについて説明を行うとともに、部会委員に対し参画を依頼した。

（２）審議案件

本田副施設長、マッチングコーディネーター福永氏から審議内容について説明を行い、各案件について委員と意見交換を実施した。

審議①：オープニングイベントの企画（参画）検討、全体振付及び・意見交換で見えた課題

○オープニングイベント期間に開催予定のイベント情報共有

- ・生涯現役フェスタ（１１月４日（水））について河上委員より説明。

集客目標：７００人以上

平日初日のイベントとして、１１時～１９時で実施

著名人によるトークショーを１３～１５時に開催

約４０団体によるブース紹介と展示

イーグレットホール（９００人収容）、エントランスホールを使用

- ・文化的協働演奏会（期間中複数開催）について大谷委員より説明。

世田谷アーティストバンク登録アーティスト（クラシック中心、３１組）による演奏

団体同士のコラボ演奏会（１１月２３日（月祝）に３組程度が参加意向）

ラウンジ等様々な場所での演奏

第１０回世田谷国際メッセ・ホストタウンコンサート（１１月１３（金）～１４日（土））

区内大使館・国際交流団体による出展、アメリカに関連するジャズやゴスペルコンサートの実施、文化と国際の取り組みの融合を予定している。

○委員からの区民利用・交流拠点開設に対する意見及び事務局からの回答・要望・課題は以下の通り。

１．意見

- ・汽水域の外側の人たちをどのように巻き込むのか。近隣住民への関わり方。

（回答）交流拠点に関わる間に施設を好きになり、社会参加しているというイメージ。具体的な手法は部会にて議論したい。

- ・区役所周辺の商店街や大学のイベントとコラボできるものがあるかもしれない。

（回答）区役所近隣で開催されるイベントとのコラボも考案しており、実行委員会での取り組み依頼となる。

・障害者団体は参加したい意欲はあるが、何がどのようにできるのか不明なため参加の判断がしづらい。利用できる部屋を事前に見学したい。

（回答）まずは小さい会議から施設を利用してみることも可能。施設の部屋や備品情報は世田谷区のホームページに掲載しているが、利用ルールは利用憲章検討内で完成させていくため現時点での回答はできかねる。

・交流拠点の利用イメージが湧かない。オープニングイベントへ参加表明をした場合、何をどのくらい準備すべきか不明であり、参加団体それぞれの実施内容などをとりまとめる人が必要ではないか。

（回答）実行委員会を発足予定としており、オープニングイベントについて詳細決定を進めていく。

・交流拠点の空間イメージが不明瞭なため、各部屋の詳細を教えてほしい。また平日のイベント開催時、区庁舎に來訪する方との動線を分けた方がいいのではないかな。

(回答) 交流スペース及び会議室について改めて説明。交流拠点は区庁舎に訪れた方へ開放しているが、必要に応じて動線を確保する必要があると考えている。

・イベント実行へのボランティア含めてスタッフ募集するツールとしてSNSを活用すると学生は情報を得やすく、参加のハードルが下がる。

2. 委員からの要望

- ・交流拠点を利用している様子を確認したい。
- ・施設オープン後に、見学ツアーを実施してほしい。
- ・オープニングイベントでは交流拠点の利用可能性が高い団体に対して、大きな内覧会としてまず見学してもらう場があればよい。

3. 審議①の意見交換で見えた課題

①交流拠点の利用傾向

- ・交流拠点の利用意向のある地域及び年代が限定的になってしまうのではないかな。

②集客とボランティア人員に関する懸念

- ・21日間の大規模イベント実施にあたり、各団体の人員確保が課題である。
- ・良い内容のイベントもうまく広報しないと来場者が増えないため、広報サポートを依頼したい。

審議②：利用憲章（案）検討

○検討背景

区民利用・交流拠点の準備委員会にて、利用憲章について議論を進めてきた。施設の具体的な禁止事項ではなく、交流拠点の理念や方向性を憲章とすることが重要と意見が挙がった。部会では憲章内容案や表現について、整理・検討する。

○憲章の決め方

オープニングイベント期間中、交流拠点を訪れてくれた人たちにも一緒に検討してもらい、フィナーレで発表。

○委員からの主な意見及び提案は以下の通り。

提案

- ・憲章を考えた人が示せると良い。多くの方に憲章について考えてもらうプロセスが大事。
- ・区が利用憲章を決めてしまうと「守るべき決まり」となってしまう。参加者が主体となり、多様な人の声や思いが集まって形になった憲章であることを示すことが大切。
- ・気軽に社会参加できる場をつくり、施設の魅力を感じた方が自然に憲章づくりに参加できる流れを整え、分かりやすい方向性やニュアンスを提示する必要がある。
- ・「憲章」という表現について、参加者が親しみやすいキャッチーな感じがいいのではないかな。
- ・プレーパークや遊び場開放の決まり事など、子ども目線で設定されているものを参考にするのが良いと考える。
- ・「汽水域」という言葉は難しいが、逆にクリエイティブでもあるため残した方がいいのではないだろうか。
- ・「汽水域」について説明できる人を増やしていきたい。

- ・憲章はオープニングイベントが終了後もブラッシュアップされるものと思うため、ある程度堅実な内容にする必要があると考える。
- ・交流拠点の利用に関するアイデア集を作成する。良いと思う項目を抽出し、具体的な内容にするための議論をしていく。アイデアボックスのような、みんなの思い付きを集める場所があると良い。
- ・「憲章」という言葉が固く、内容をイメージしづらいため、分かりやすい表現に言い換えるのはどうか。
- ・まずは交流拠点の目指すイメージを固めた方が良い。
- ・ユニバーサルデザインの考えも取り入れてもらいたい。

※審議③：オープニングイベントでの課題解決テーマ設定の具体化については、次回の部会での検討事項とする。

審議④：広場のマルシェに用いるシェード作成

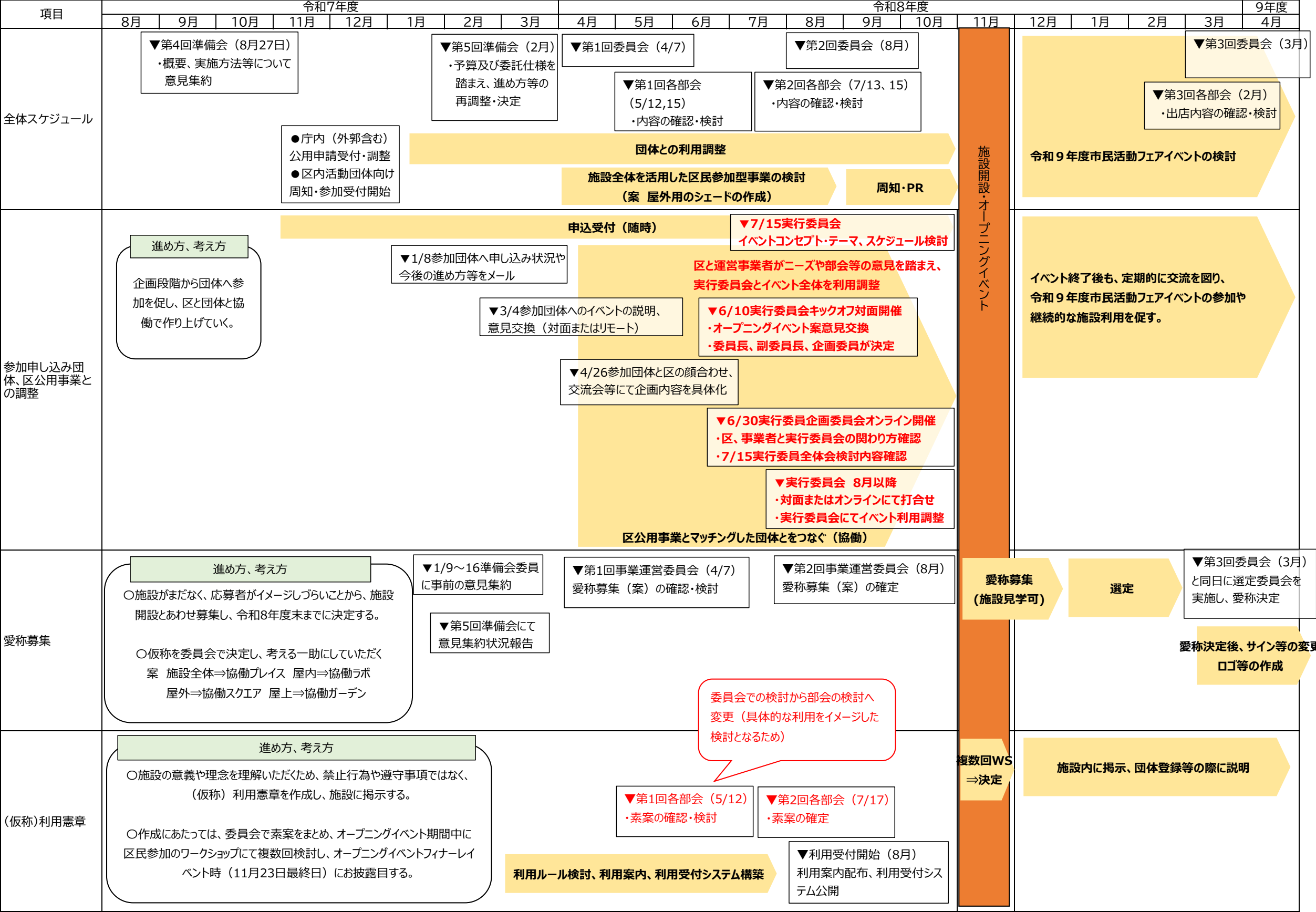
- ・伊藤市民活動推進課長から広場でのマルシェ開催時に、日陰を作るためのカラフルなシェードを区民参加で作成したい旨の説明があった。青山ファーマーズマーケットのような雰囲気づくりが目指される。
- ・次回部会（7月）にて各委員から区民参加型シェード作成のアイデアを持ち寄り、プレゼンと審議を予定。

（3）部会での確認事項

1. オープニングイベント実行委員会の設置を決定し、事業運営委員会、部会、参加団体で構成とし、各委員と参加団体から実行委員会への参加を募る。
2. 利用憲章の構築方法として、オープニングイベント期間を活用し、参加者の意見を反映させながら協働で作成する。
3. 情報共有ツールにコミュニケーションアプリ（スラック）の導入を予定。進捗状況の随時共有を実現していく。
4. 次回区民活動・交流部会及び文化・芸術部会を7月中旬に開催し、オープニングイベントの具体的なアイデア発表の時間と広場のマルシェに用いるシェードの区民参加型作成案について石山委員をはじめ各委員よりプレゼンしてもらいたい旨を事務局より案内した。

オープニングイベントスケジュールについて

資料6-1



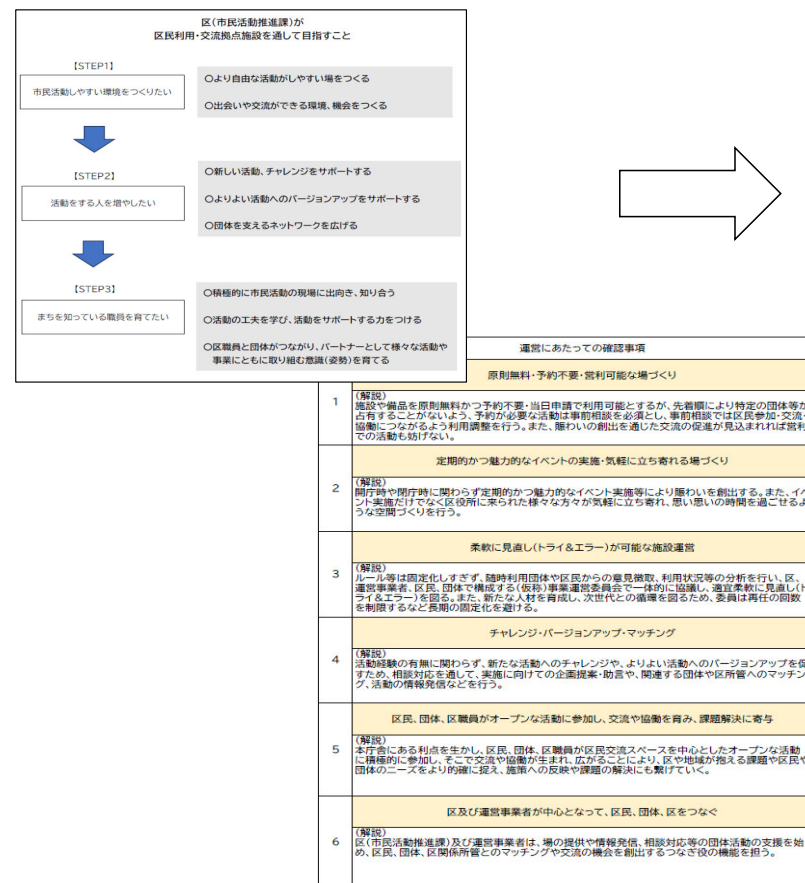
▼その他、特定の課題（ごみ処理や紙のデジタル化）への対応や、イベント期間中の活動内容や結果、反省点等について団体から団体へ引き継いでいくような企画も検討する。

資料6―2は
非公表

資料6—3は
非公表

○施設利用ルール案(利用憲章)

準備会で検討させていただいた運営にあたっての確認事項、団体活動や個人利用にあたってのルール等について、禁止行為や遵守事項としてではなく、利用憲章として作成し、施設内に掲示したい。
作成にあたっては、運営委員会での意見をまとめ、令和8年11月のオープニングイベントで案としてお示しし、区民からの意見も含め決定していきたい。



区民利用・交流拠点施設利用憲章(イメージ)

資料 7 - 1

この施設は、区民・団体・区が協働して、多様な人々がともに支えあい、交流し、心豊かな住みやすい暮らしを実現するための「区民自治と協働・交流の拠点」です。

この施設の限りのない発展のためにはこの施設を利用する皆さんのつながり合い、助け合い、支え合いが大変重要になります。

この施設で区民・団体・区職員が一緒になってよりよいまちづくりに向けた、オープンなイノベーションを創出していきましょう。

①この施設の意義

- ・みんなが自由に活動でき、憩える場です。
- ・沢山の出会いや交流ができる環境、機会をつくる場です。
- ・トライ&エラーで取り組んでいく場です。
- ・活動へのチャレンジやバージョンアップをサポートする場です。
- ・活動する、参加するみんながつながり、協働を実践する場です。

②活動理念

- ・沢山のひとと知り合おう。
- ・アイデアを出し合い、みんなで共有しよう。
- ・関心のない人も巻き込んでみよう。
- ・勇気を出して参加してみよう、誘ってみよう。
- ・ここでの活動を地域でもやってみよう。

③施設利用の心得

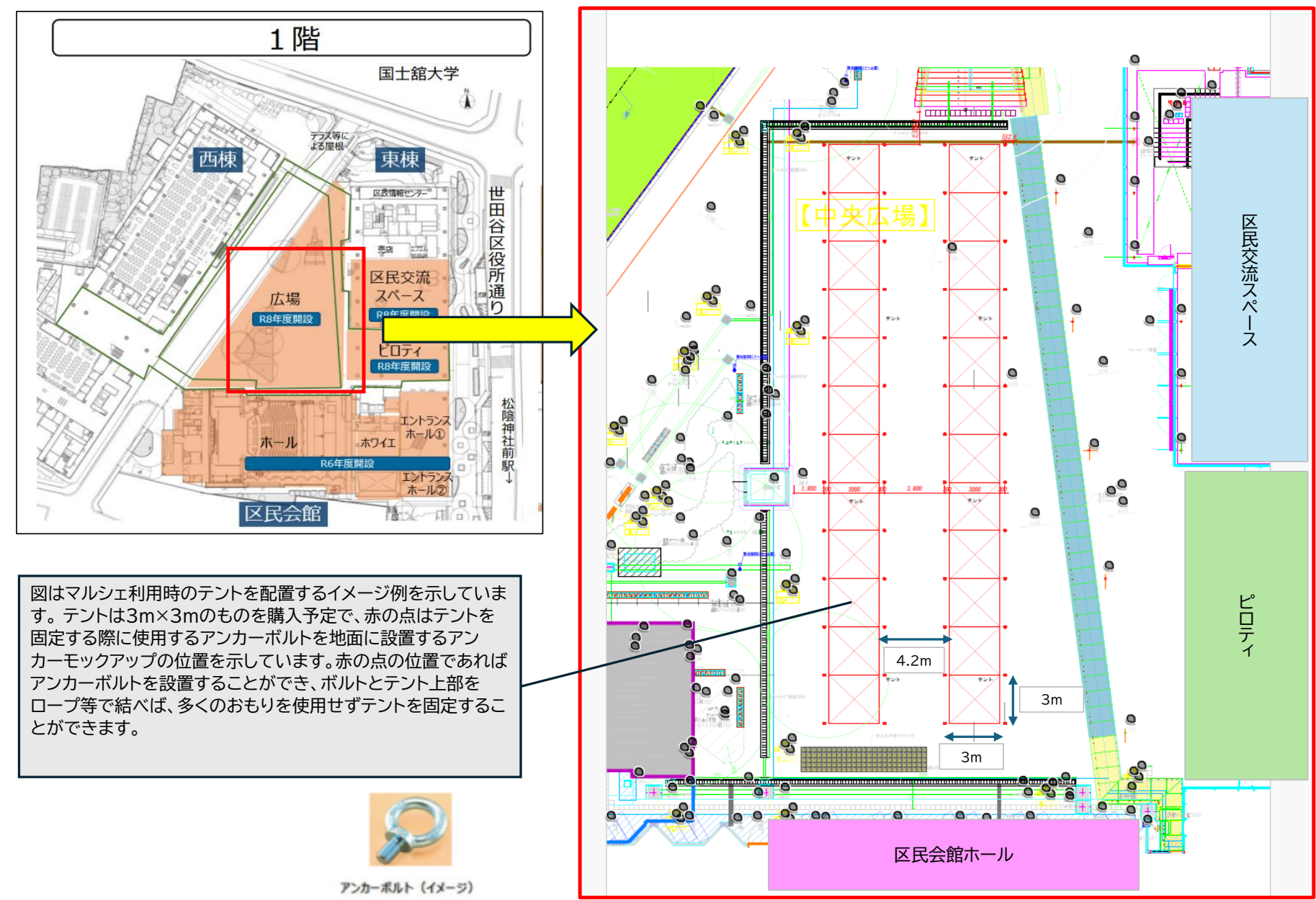
- ・みんなで譲り合って使おう。
- ・建物や備品は大事に使おう。
- ・利用したら、次の人のためにもっときれいにしよう。
- ・個人のごみは持ち帰ろう。
- ・活動時のごみはできるだけ減らして分別しよう。



遊び場開放のやくそく

1. 遊ぶときには「遊び場開放中」の看板が出ています。
2. 人のめいわくになる遊びはやめましょう。
3. あと片付けをしましょう。
4. 校庭のほかの場所には入らないようにしましょう。
5. 指導員のいうことをまもって元気になかよく遊びましょう。

つきそいのある幼児と児童の安全な遊び場として
校庭を開放しています。

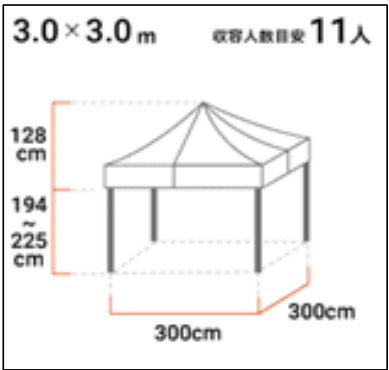


青山ファーマーズマーケットのようなテントとテントの間につなげるカラフルなシェードを区民参加で作成したい。

(参考) 青山ファーマーズマーケット



- 【屋外用備品(広場・屋上庭園)】
- テント 20
 - 机 80
 - いす 250



みんなで作る シェード（案）

NPO法人子育て支援グループamigo

石山恭子

インクルーシブアート活動での経験より

フリースタイルver.



インクルーシブ アート活動での 経験より

色味を調整したフリース
タイルver.





インクルーシブアート活動での経験より

道具を工夫したver.

インクルーシブアート 活動での経験より

- 色味限定の折染ver.





bajicoの 横断幕

- ぬたくり→パッチワークver.



パブリコの壁

- ステンシルver.



プロジェクトに最適な手法を選ぶための比較マトリクス

	身体的運動量	準備・片付け の負担	最終アウトプット	後加工の必要性
フリースタイル	● 高い	● 高い (大掛かり)	抽象・有機的	● 高い (パッチワーク推奨)
道具の工夫	◐ 調整可能	◐ 中程度	抽象・有機的	◐ 中程度
折染	○ 最小 (微細運動)	○ 低い (省スペース)	規則的・幾何学	○ 低い (そのまま展示可)
ステンシル	○ 低～中	○ 低い	空間調和・図形	✕ 無し (完成)

参加者の特性と、最終的な展示場所（景観）の要件を掛け合わせ、最適な手法をデザインします。



1. 耐水性の顔料

屋外での長期使用（シェードとしての機能）に耐えうる、安全かつ耐久性の高い塗料の選定。



2. 素材の選定

光を透過しつつ日差しを遮る、ペイントに適したテント生地や布材のテスト。



3. ユニバーサル・インクルーシブの視点

車椅子導線の確保、感覚過敏に配慮したエリア分け、専用ツールの事前準備。



4. 誰を巻き込むか

どこまで大人の手（後加工・縫製など）をかけるか。地域ボランティアや専門家との協働体制の構築。